

世界のすきまに新たな世界を

2016年3月期 決算補足説明資料

2016年4月26日



四国化成工業株式会社

証券コード:4099

目次

会社プロフィール	… 3	キャッシュ・フロー概要(連結)	… 11
決算のポイント	… 4	設備投資額、減価償却費、研究開発費(連結)	… 12
損益構造推移(連結・通期)	… 5	業績予想(連結)	… 13
海外地域別売上高推移	… 6	セグメント別 売上高・利益	… 14~16
損益構造推移(連結・四半期)	… 7	化学品事業セグメント	… 17~18
損益計算書(連結・四半期)	… 8	建材事業セグメント	… 19~20
資産(連結)	… 9	[参考]製品概要	… 21~26
負債・純資産(連結)	… 10	トピックス	… 27

会社プロフィール

▼会社概要

- 商号 四国化成工業株式会社
SHIKOKU CHEMICALS CORPORATION
- 設立 1947年(昭和22年)10月10日
香川県丸亀市において、二硫化炭素の製造を目的に設立
- 主な事業 [化学品] 無機化成品、有機化成品、ファイン ケミカル
[建 材] 内・外・舗装材、住宅エクステリア、景観エクステリア
- 研究, 生産拠点 1研究所、6工場
- 事業所 [日本] 2支社、9営業所 [海外] 米国、中国(上海・深圳)、台湾、シンガポール
- 資本金 68億6,770万円
- 従業員数 連結 1,056人 単体 591人 (16年3月末)

▼株式

- 発行済株式総数 58百万株
- 株主総数 4,023名 (16年3月末)

▼関係会社

連結子会社 [日本：9社、海外：1社]
SHIKOKU INTERNATIONAL CORPORATION
日本硫炭工業(株)
シコク環境ビジネス(株)
シコク分析センター(株)
シコク興産(株)

シコク景材(株)
シコク景材関東(株)
シコク・システム工房(株)
シコク・フーズ商事(株)
シコク・フーズ保険サービス(株)

非連結子会社 1社
四国化成(上海)貿易有限公司

決算のポイント

■ 連結経営成績

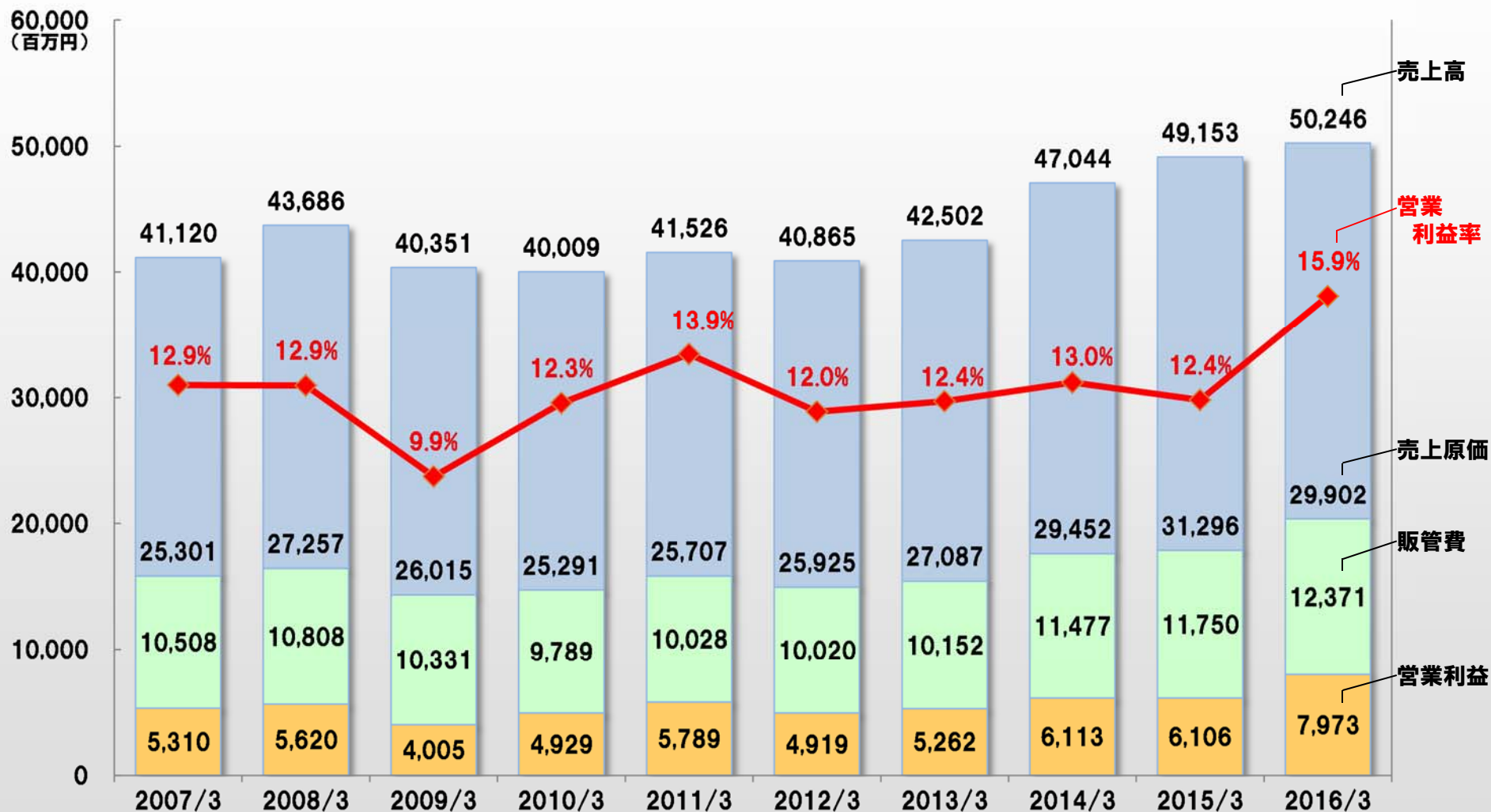
(百万円)

	2015/3		2016/3		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	49,153	100.0%	50,246	100.0%	1,093	2.2%
営業利益	6,106	12.4%	7,973	15.9%	1,867	30.6%
経常利益	6,531	13.3%	8,197	16.3%	1,666	25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,361	8.9%	4,854	9.7%	493	11.3%
為替レート(円/US\$)	109		121			
為替レート(円/EUR)	139		133			

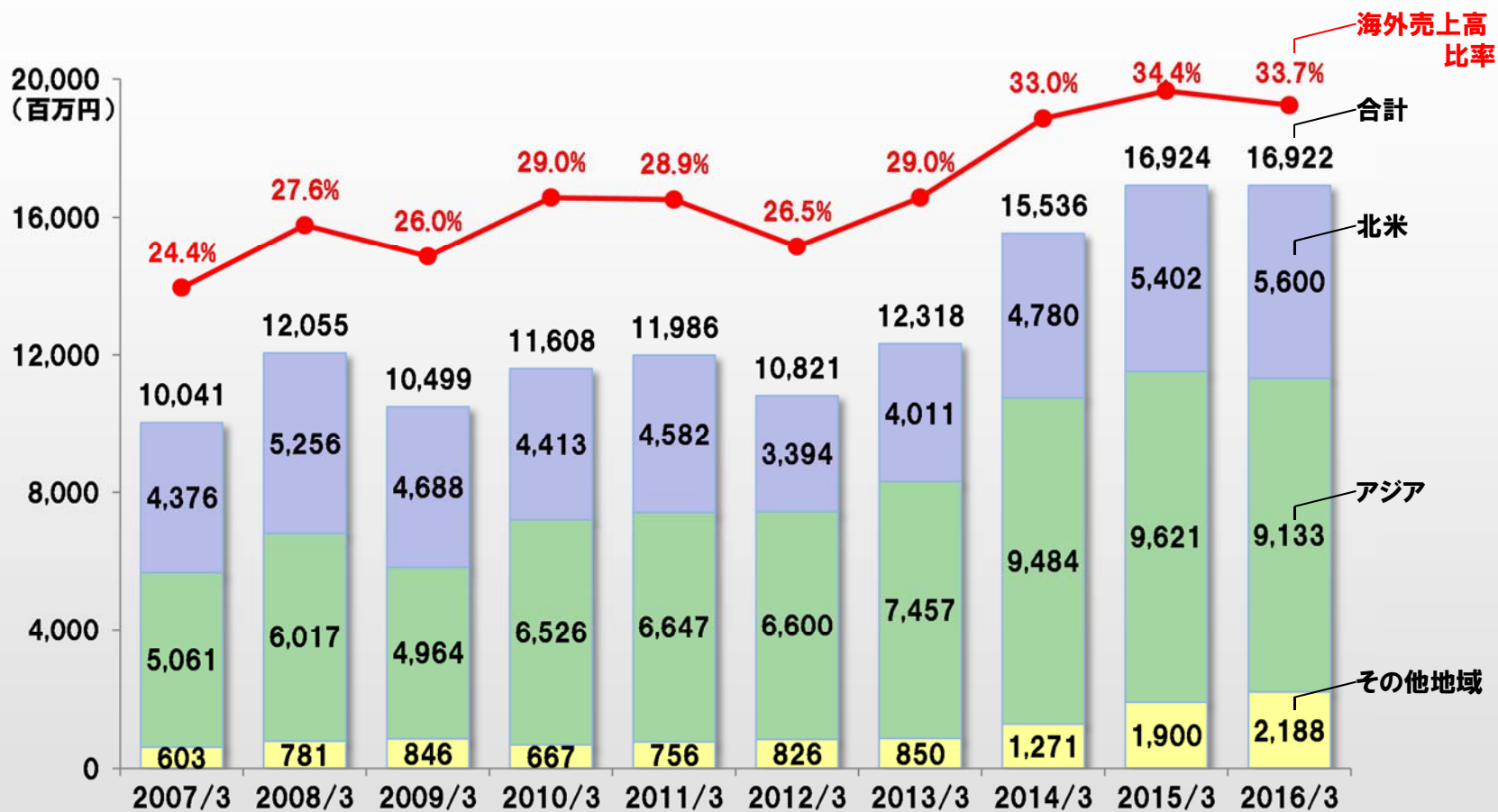
◆ 売上高、利益ともに過去最高を更新

- ・ 化学品、建材事業ともに販売は前年を上回り、売上高は前期比2.2%増収。
- ・ 円安や原材料価格下落による収益性向上や、価格改定によるエクステリアの収益性改善等により、営業利益は前期比30.6%増益。
- ・ 営業外損益では、期末の円高により為替差損が発生し、経常利益は前期比25.5%増益。
- ・ 特別損益では、イミダゾール製造設備等で減損損失を計上し、当期純利益は前期比11.3%増益。

損益構造推移 (連結・通期)

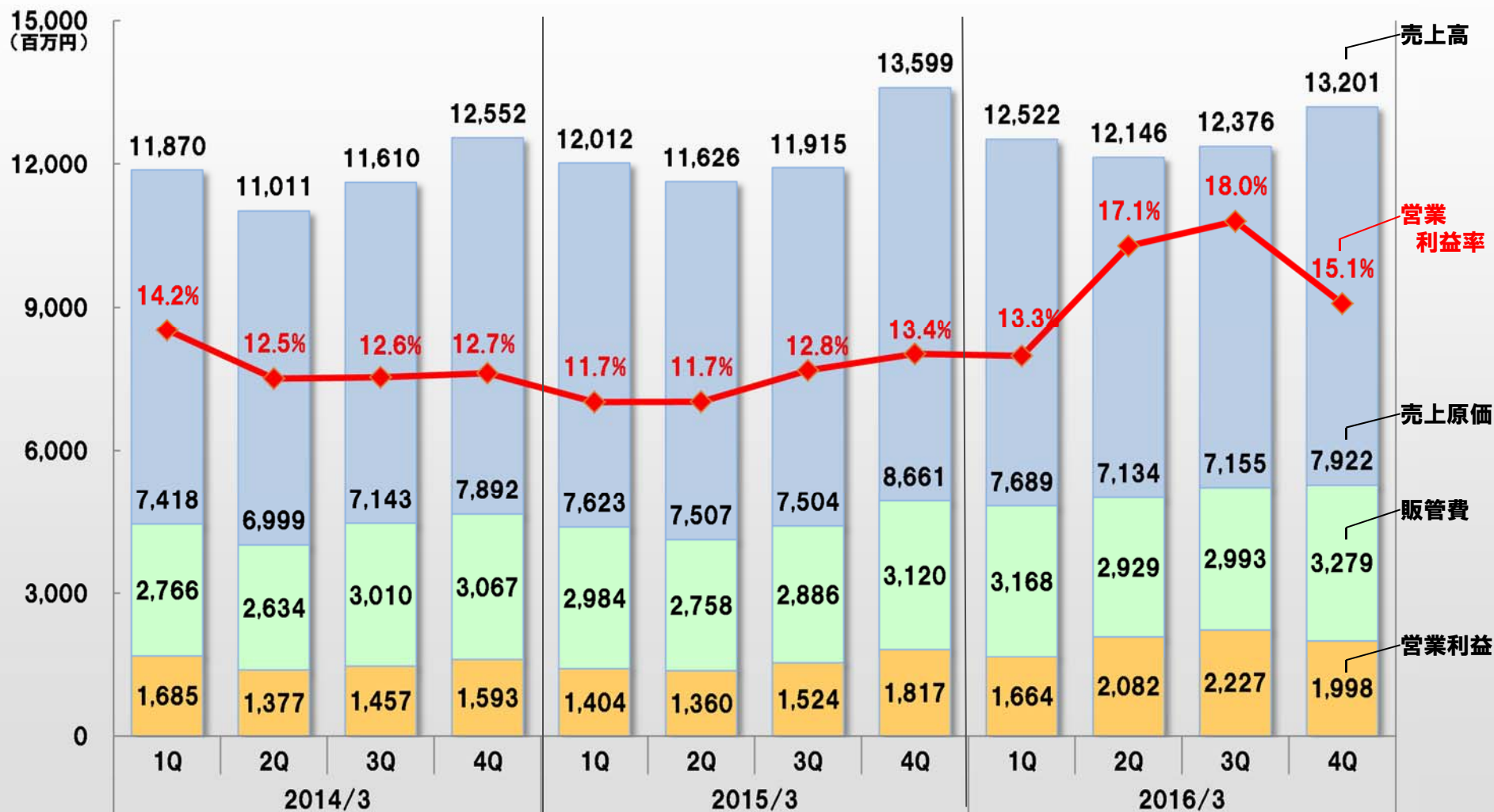


海外地域別売上高推移



為替レート(円/US\$)	117	111	101	93	86	79	82	100	109	121
為替レート(円/EUR)	149	161	148	132	114	110	106	132	139	133

損益構造推移 (連結・四半期)

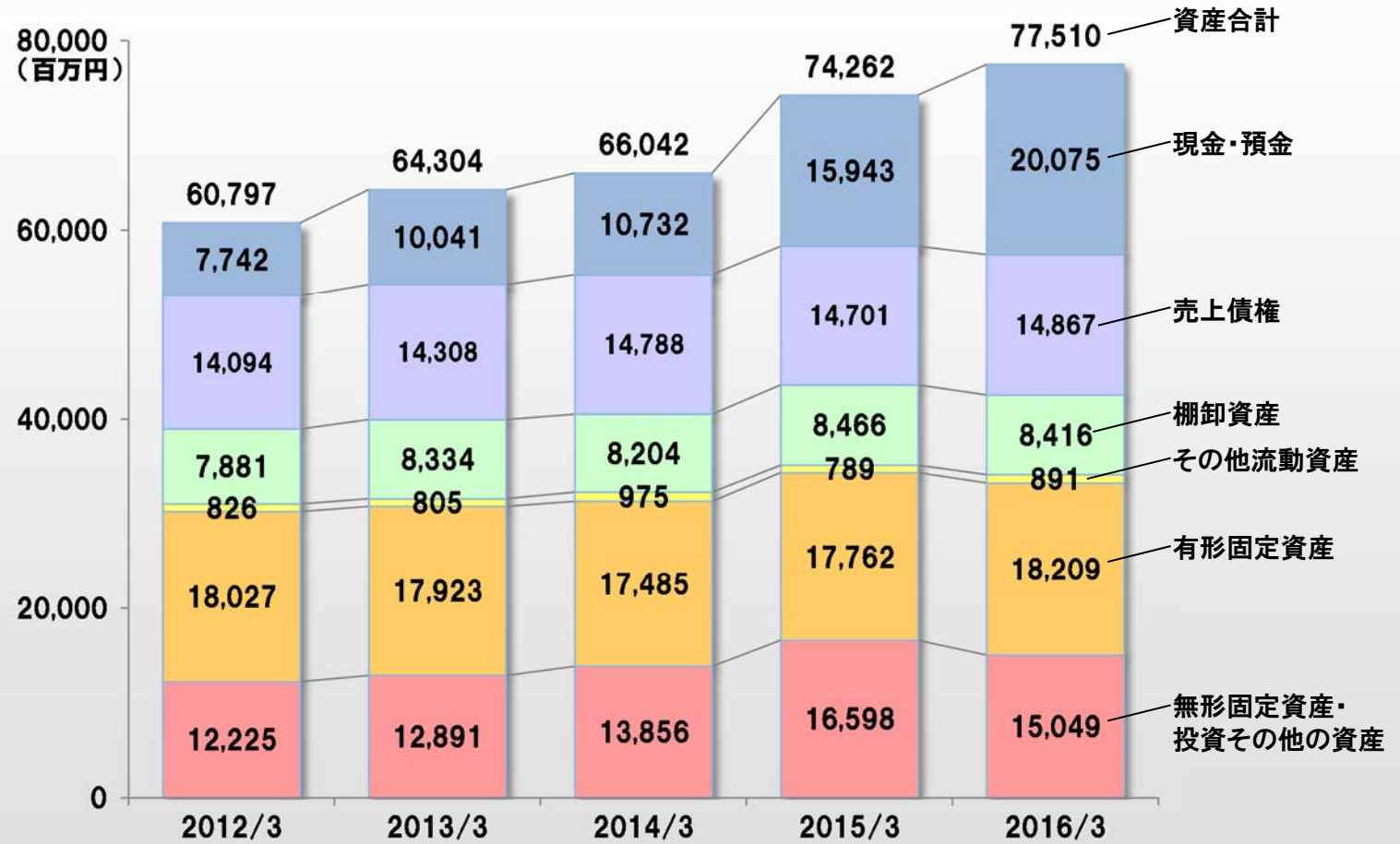


損益計算書（連結・四半期）

（百万円）

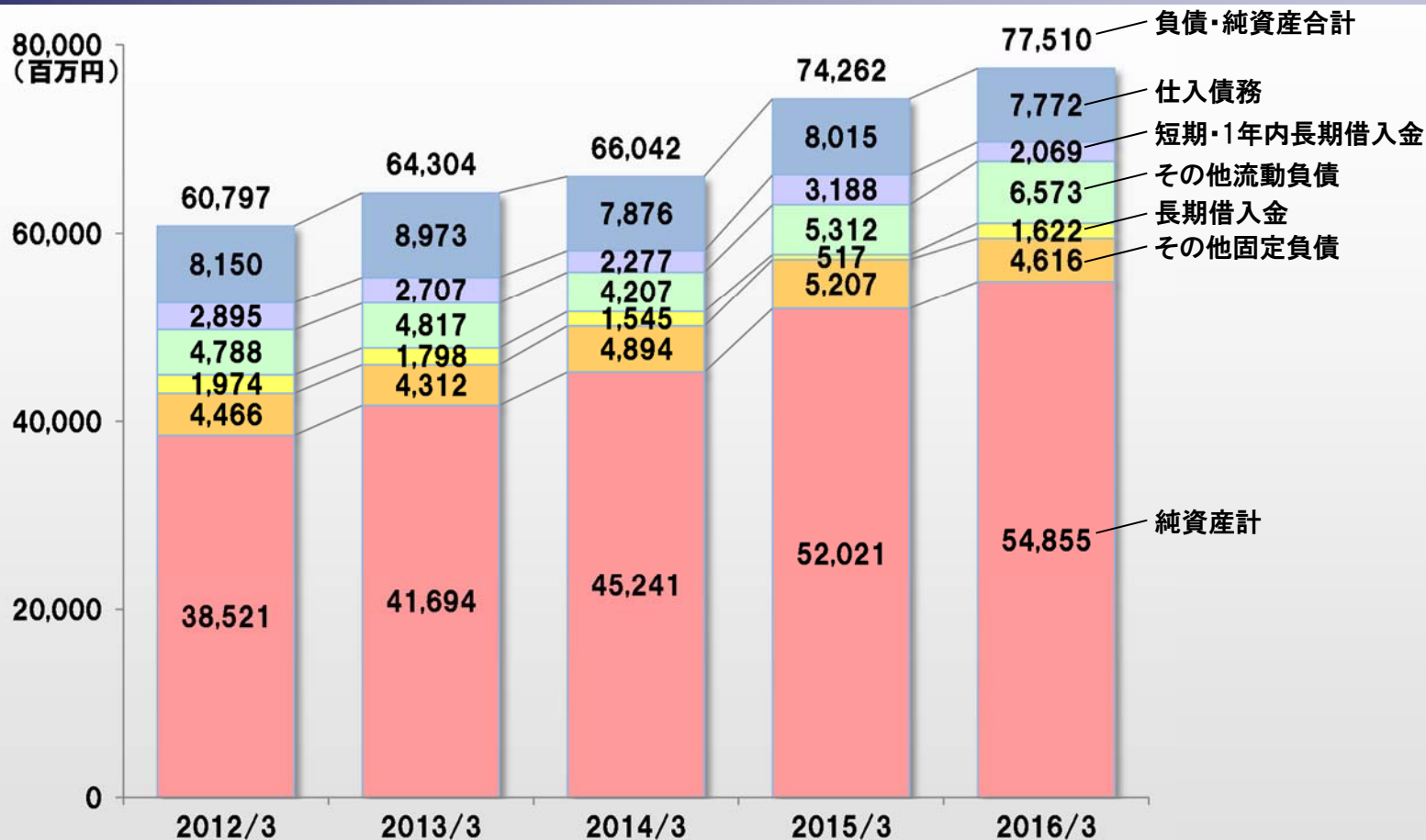
	1Q実績		2Q実績		3Q実績		4Q実績		2016年3月期 通期実績	
		前年同期比 増減 (率)		前年同期比 増減 (率)		前年同期比 増減 (率)		前年同期比 増減 (率)		前年比増減 (率)
売上高	12,522	510 (+4.2%)	12,146	519 (+4.5%)	12,376	461 (+3.9%)	13,201	▲ 397 (▲2.9%)	50,246	1,093 (+2.2%)
営業利益	1,664	260 (+18.5%)	2,082	721 (+53.1%)	2,227	703 (+46.2%)	1,998	181 (+10.0%)	7,973	1,867 (+30.6%)
経常利益	1,978	457 (+30.1%)	1,987	476 (+31.6%)	2,372	587 (+32.9%)	1,859	144 (+8.4%)	8,197	1,666 (+25.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,250	354 (+39.5%)	1,323	155 (+13.3%)	1,564	346 (+28.4%)	715	▲ 362 (▲33.6%)	4,854	493 (+11.3%)

資産 (連結)



ROA	4.6%	5.1%	6.0%	6.2%	6.4%
-----	------	------	------	------	------

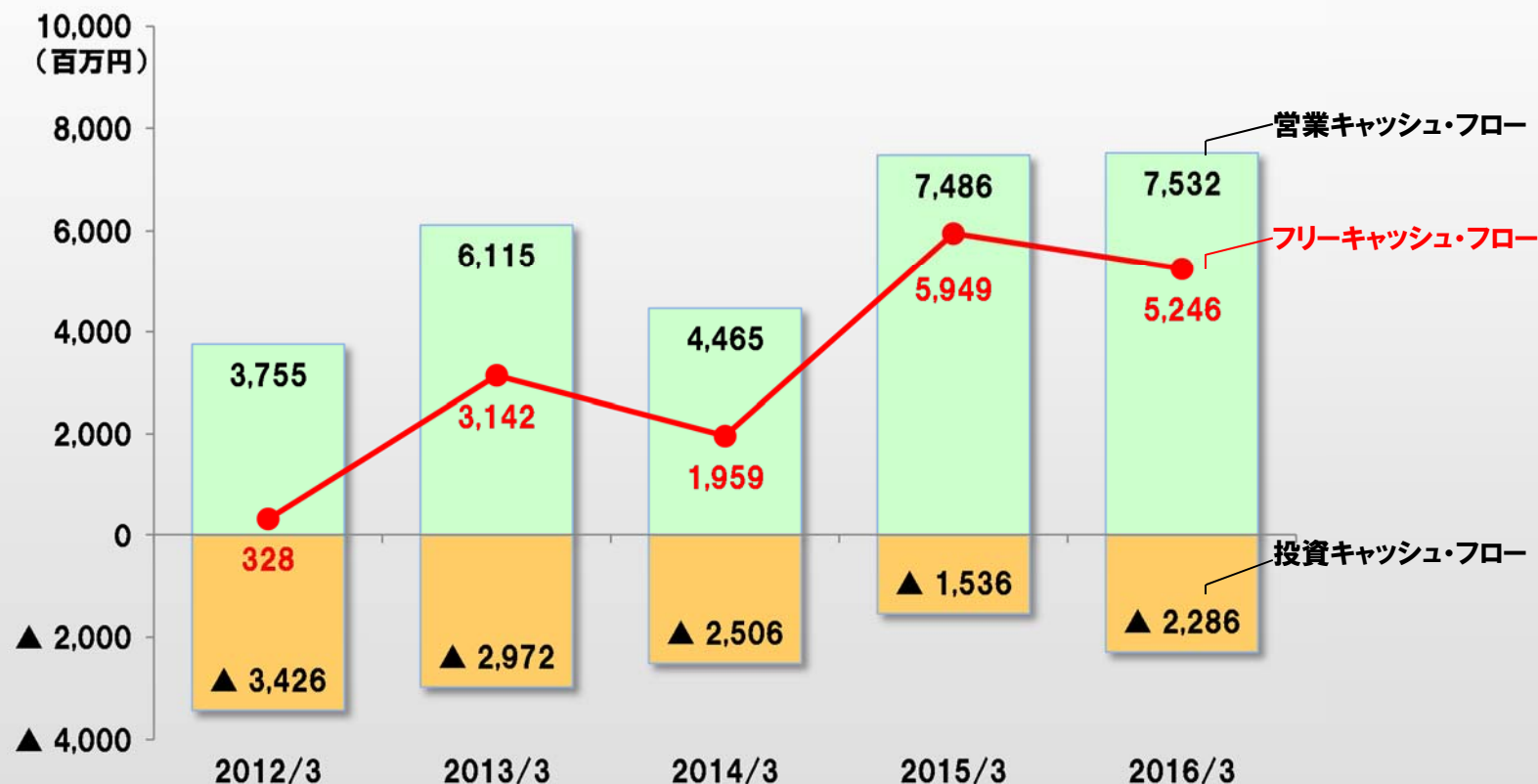
負債・純資産（連結）



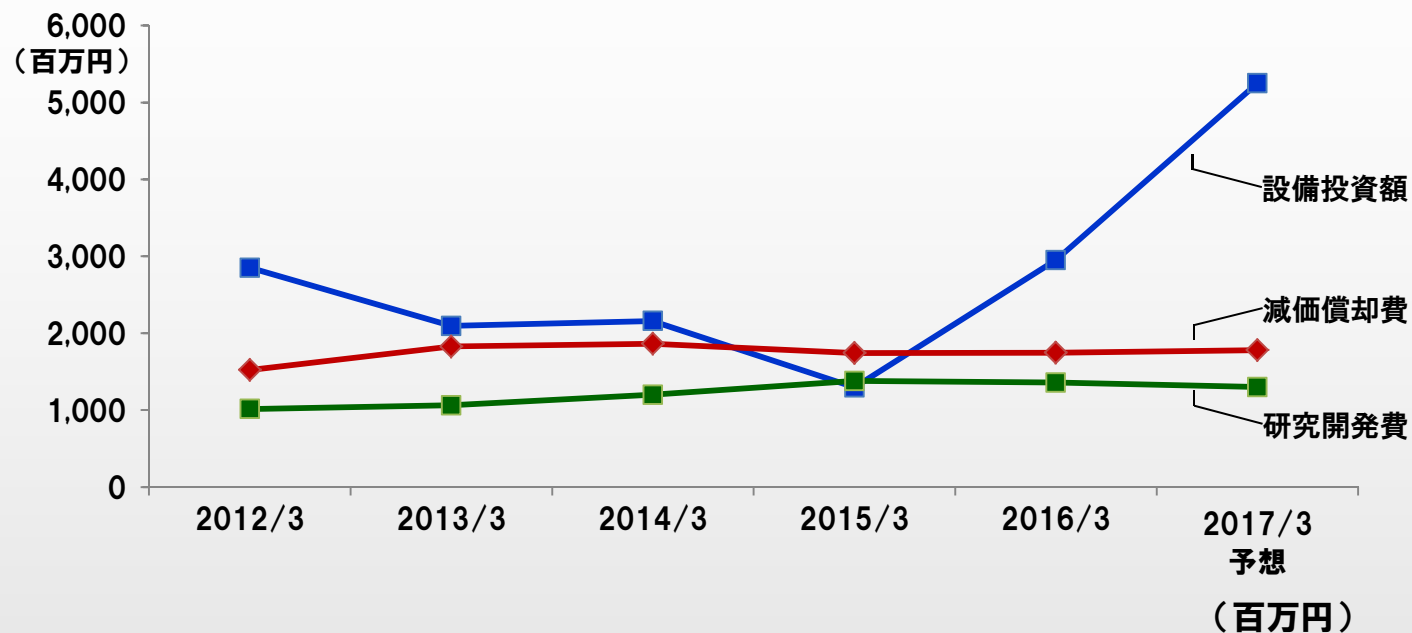
ROE(%)	7.3	8.0	9.1	9.0	9.2
有利子負債残高(百万円)	5,025	4,675	4,004	3,893	3,917
純有利子負債額(百万円)	▲ 2,717	▲ 5,366	▲ 6,728	▲ 12,050	▲ 16,158
自己資本比率(%)	62.9	64.5	68.1	69.3	70.0

キャッシュ・フロー概要（連結）

- ◆ 堅調な利益の計上により、営業キャッシュ・フローを順調に獲得。
- ◆ 不溶性硫黄生産設備等の設備投資が増加したが、現金及び現金同等物は、前期末比4,131百万円増加。



設備投資額、減価償却費、研究開発費（連結）



	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 予想
設備投資額	2,852	2,095	2,158	1,296	2,952	5,250
減価償却費	1,523	1,827	1,863	1,743	1,747	1,780
研究開発費	1,015	1,062	1,199	1,379	1,358	1,300

業績予想（連結）

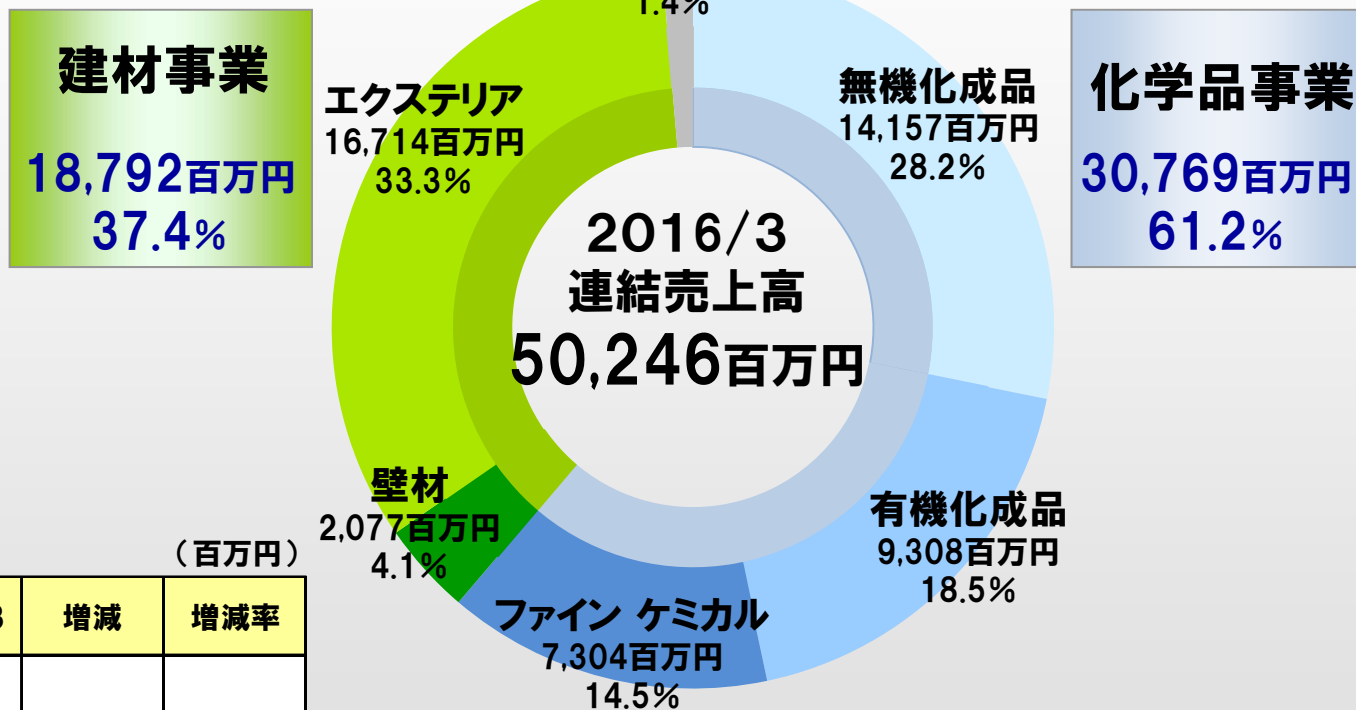
（百万円）

		2016/3	2017/3 （予想）	増減	増減率
売上高	上期	24,668	23,500	▲ 1,168	▲ 4.7%
	下期	25,578	25,500	▲ 78	▲ 0.3%
	通期	50,246	49,000	▲ 1,246	▲ 2.5%
営業利益	上期	3,746	2,900	▲ 846	▲ 22.6%
	下期	4,226	3,500	▲ 726	▲ 17.2%
	通期	7,973	6,400	▲ 1,573	▲ 19.7%
経常利益	上期	3,966	3,000	▲ 966	▲ 24.4%
	下期	4,231	3,600	▲ 631	▲ 14.9%
	通期	8,197	6,600	▲ 1,597	▲ 19.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	上期	2,574	2,100	▲ 474	▲ 18.4%
	下期	2,280	2,400	119	5.3%
	通期	4,854	4,500	▲ 354	▲ 7.3%

※ 想定為替レート:108円/米ドル、125円/ユーロ

セグメント別 売上高・利益

■ 売上高構成比

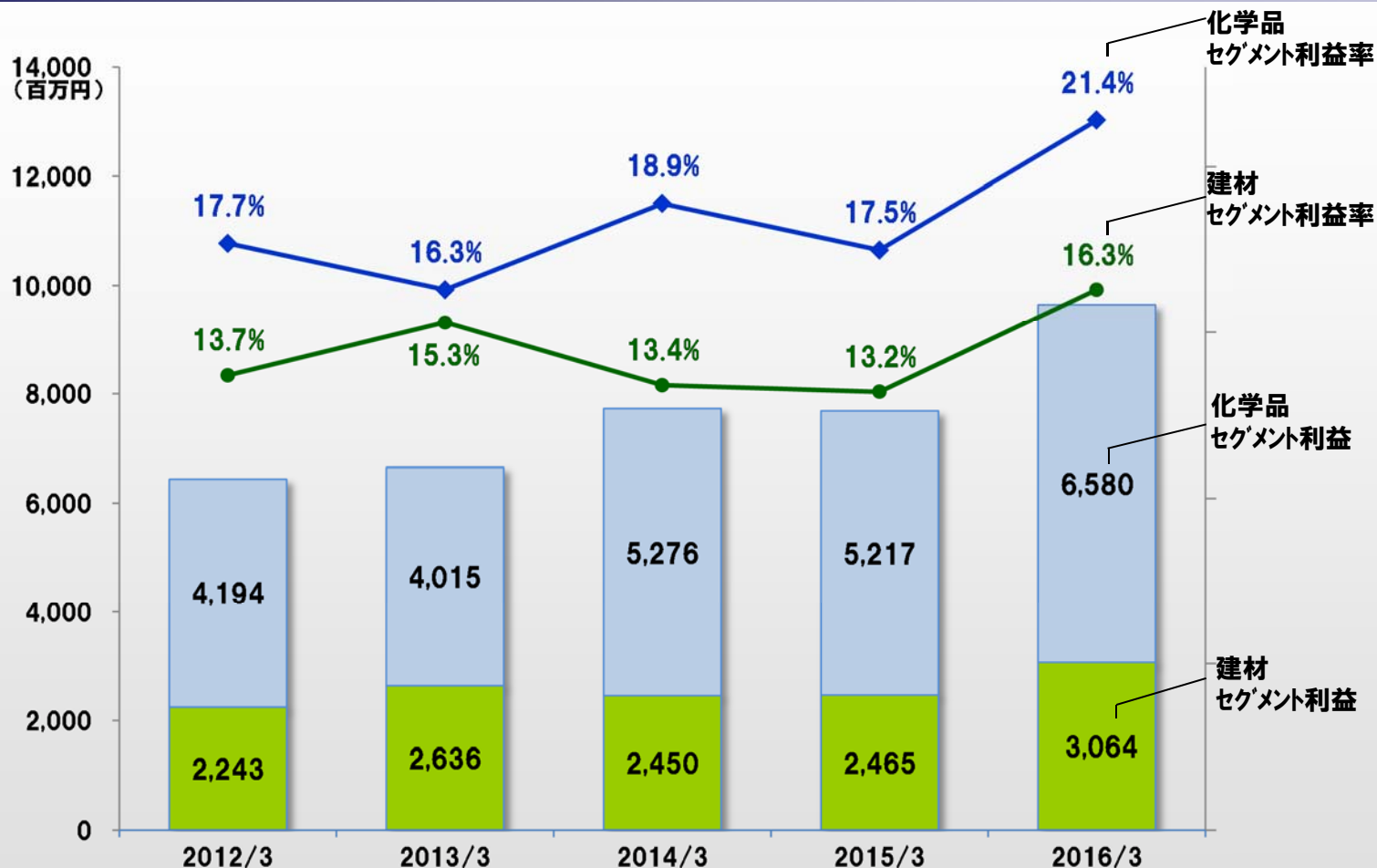


■ セグメント情報

(百万円)

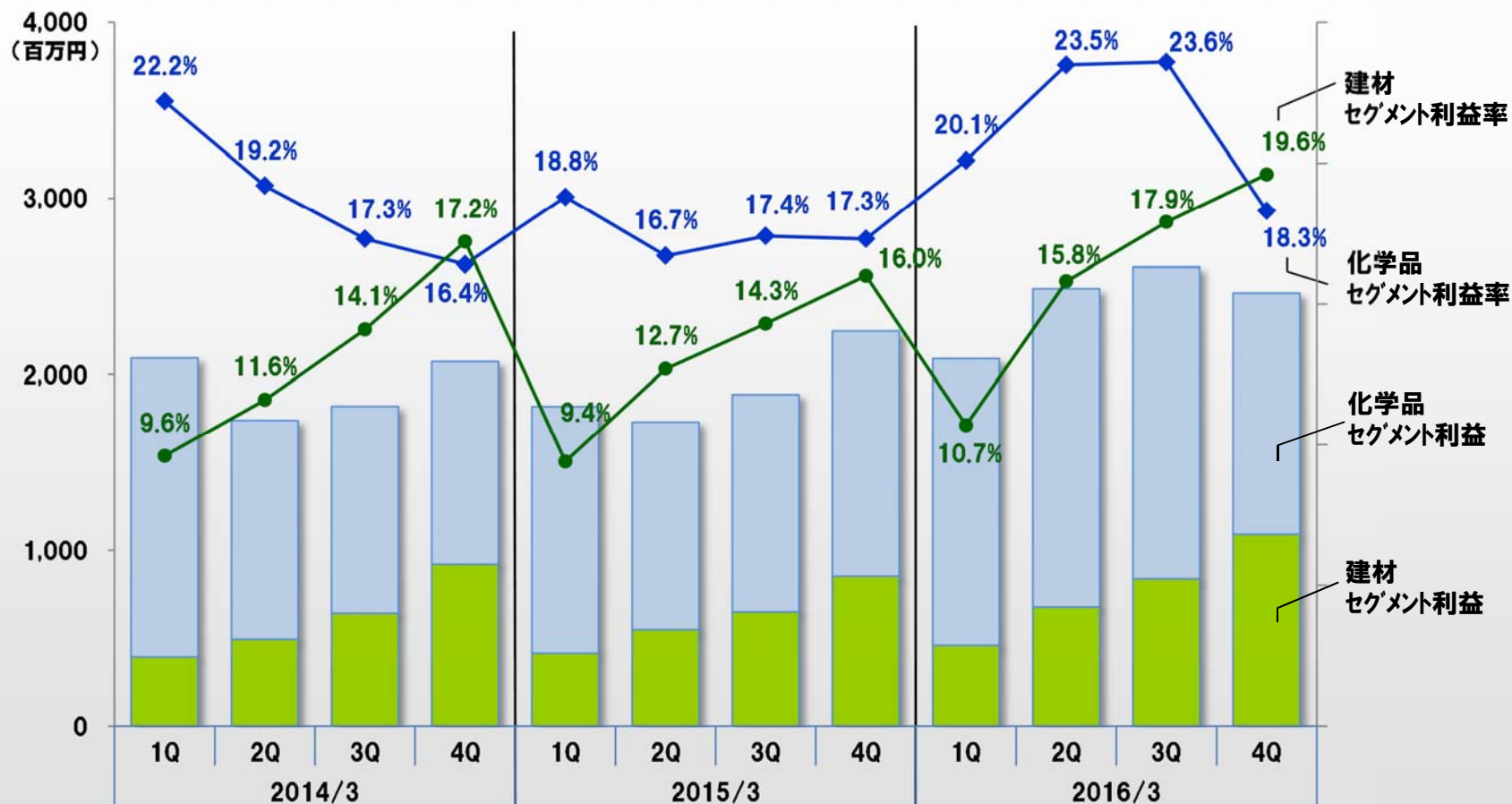
	2015/3	2016/3	増減	増減率
売上高				
化学品事業	29,752	30,769	1,017	3.4%
建材事業	18,647	18,792	145	0.8%
セグメント利益				
化学品事業	5,217	6,580	1,362	26.1%
建材事業	2,465	3,064	598	24.3%

セグメント別 利益推移 (連結・通期)



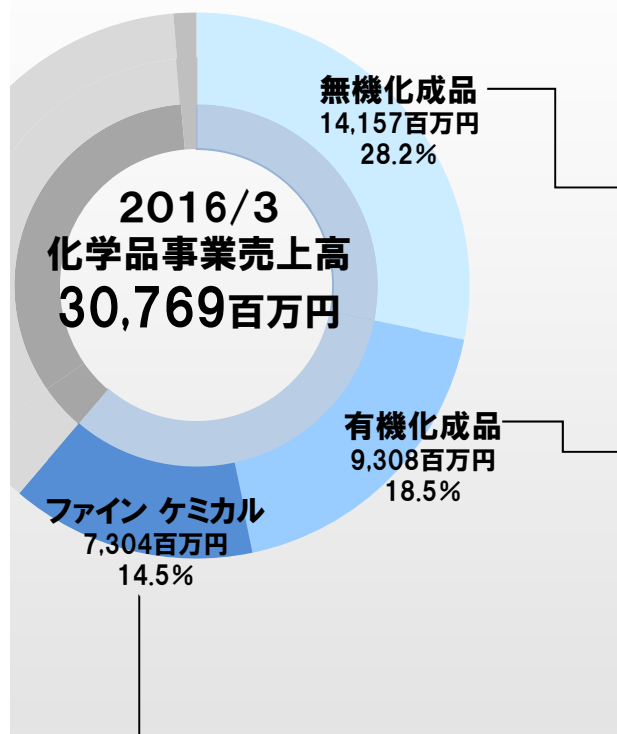
化学品売上高	23,727	24,570	27,932	29,752	30,769
建材売上高	16,352	17,186	18,257	18,647	18,792
化学品セグメント利益	4,194	4,015	5,276	5,217	6,580
建材セグメント利益	2,243	2,636	2,450	2,465	3,064

セグメント別 利益推移 (連結・四半期)



	2014/3				2015/3				2016/3			
化学品売上高	7,649	6,477	6,789	7,016	7,470	7,086	7,112	8,084	8,091	7,673	7,519	7,485
建材売上高	4,087	4,248	4,565	5,356	4,407	4,339	4,559	5,340	4,279	4,298	4,657	5,556
化学品セグメント利益	1,700	1,245	1,177	1,153	1,404	1,181	1,236	1,395	1,630	1,806	1,771	1,371
建材セグメント利益	393	494	642	919	414	549	650	851	459	678	835	1,089

化学品事業セグメント



【主要製品・用途】

- 不溶性硫黄
ラジアルタイヤ用加硫剤
- 二硫化炭素
- 芒硝



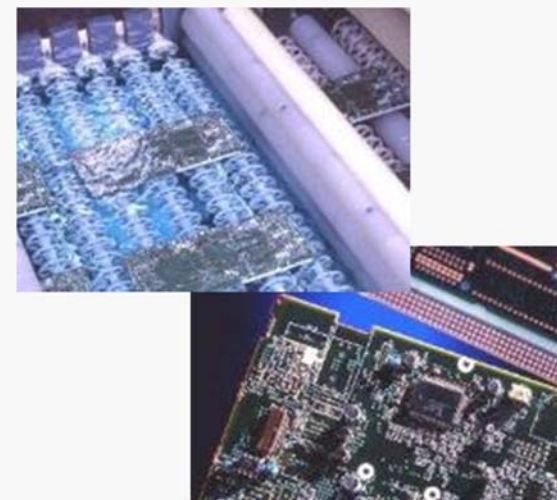
【主要製品・用途】

- シアヌル酸誘導品
プール・浄化槽用の殺菌消毒剤
- ハイポルカ

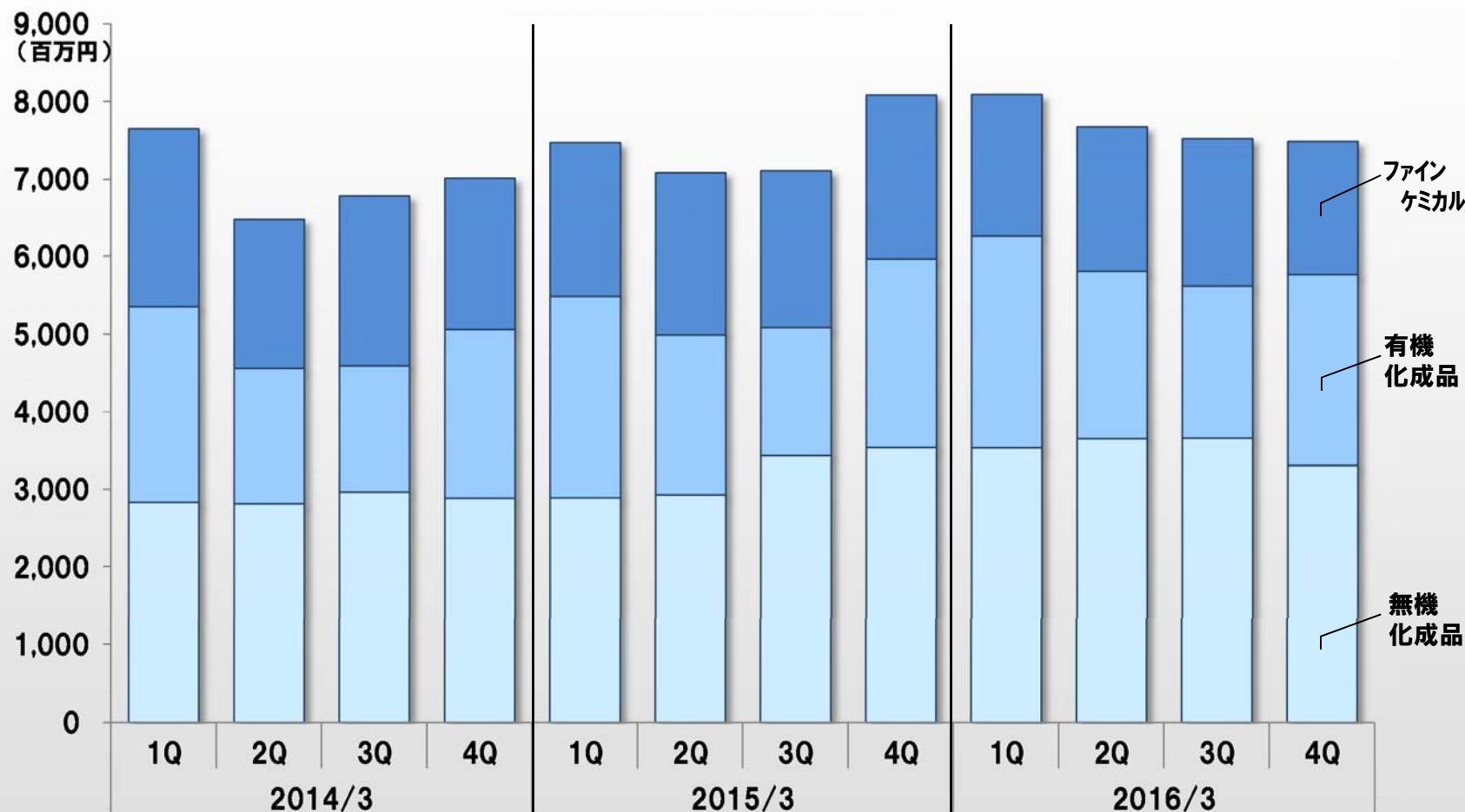


【主要製品・用途】

- タフエース
プリント配線板の防錆剤
- イミダゾール類
エポキシ樹脂の硬化剤
機能材料、医薬品原料
- セイク
- インク類



化学品 部門別売上高推移 (連結・四半期)



ファイン ケミカル	2,295	1,909	2,188	1,953	1,984	2,096	2,023	2,114	1,832	1,860	1,895	1,715
有機化学品	2,520	1,753	1,635	2,178	2,596	2,061	1,654	2,432	2,723	2,160	1,965	2,459
無機化学品	2,834	2,813	2,964	2,885	2,890	2,928	3,434	3,537	3,535	3,652	3,659	3,310

建材事業セグメント

【主要製品】

■ 住宅エクステリア

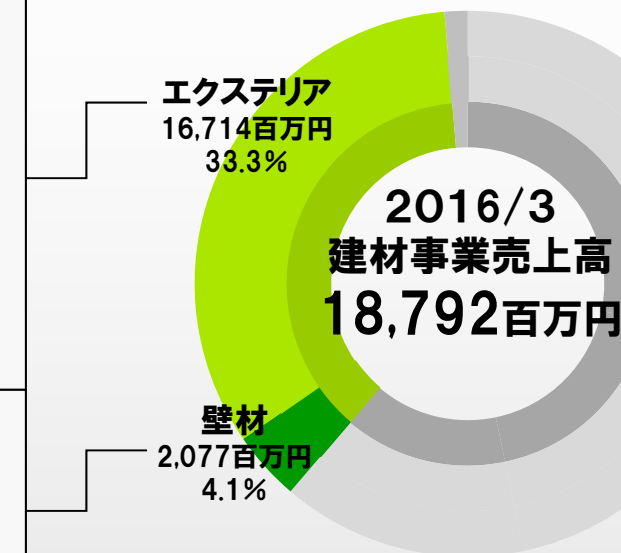
門扉・フェンス・カーポート・アコーディオン門扉

■ 景観エクステリア

大型門扉・大型フェンス・通路用シェルター
自転車置場・ゴミ集積庫・屋上緑化等

【主要製品】

■ 内装材・外装材・舗装材



■ 2016年新商品



「エクサク」(オープンファサード)

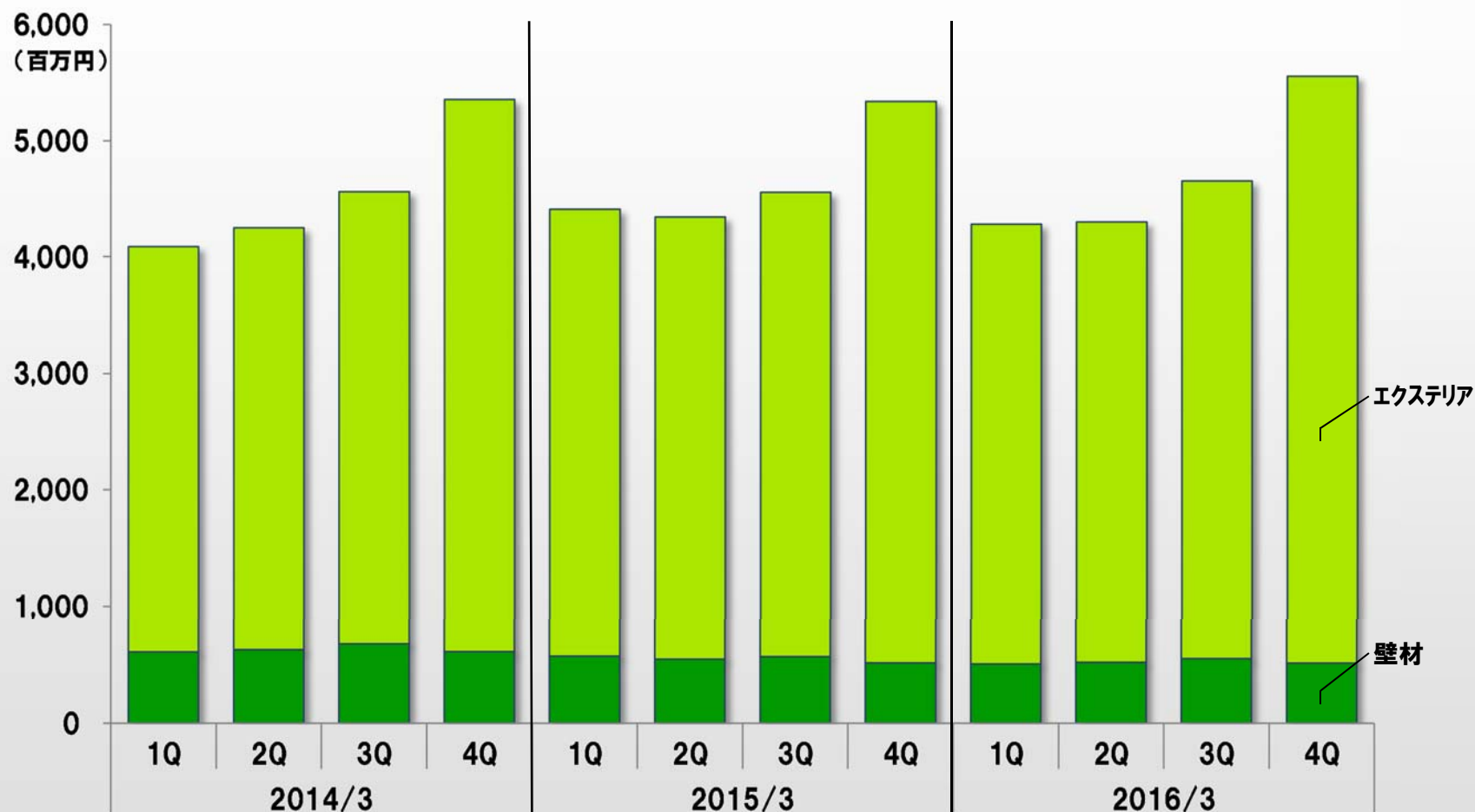


「フェアポート」(カーポート)



「ナチュラルックス」(自然素材壁)

建材 部門別売上高推移 (連結・四半期)



エクステリア	3,480	3,623	3,890	4,749	3,838	3,796	3,993	4,826	3,776	3,780	4,110	5,047
壁材	606	624	675	607	569	543	566	513	503	517	547	509

〔参考〕製品概要 ① 無機化成品

■ 不溶性硫黄

硫黄（化学式 S_8 ）を加熱、急冷し、 $(S_8)_n$ （ $n = 400 \sim 1,200$ ）となるように高分子量化した硫黄。不溶性硫黄はゴム分子を結合させる加硫剤として使われる高分子の硫黄で、現在タイヤの主流となっているラジアルタイヤの必須原料である。自動車用タイヤの製造過程では原料の混練り時に、ゴム分子を結合するために架橋剤を用いる。架橋剤には硫黄が使用されるため、一般には加硫剤と呼ばれる。この加硫工程を経ることで、ゴム本来の伸び縮みする性質（弾性）を持つようになる。

丸亀工場にて生産能力増強工事を実施中。新興国をはじめとしたラジアルタイヤの需要増に対応し、生産能力を30%増強する。当初計画通り、2017年3月完成、同年10月より本格稼働予定。

■ 二硫化炭素

硫黄と炭素を高温で反応させて作る化学物質。化学式 CS_2 。主に化学繊維レーヨンやセロハンの製造工程で用いられるほか、ゴム薬や重金属固定剤、農薬の原料として使われる。

一昨年連結子会社化した二硫化炭素製造会社の日本硫炭工業は2016年3月期より通年で損益に寄与。



二硫化炭素（水没貯蔵）

〔参考〕製品概要 ① 無機化成品

■ 芒硝(ぼうしょう)

硫酸ナトリウムの別称。化学式 Na_2SO_4 で表される硫酸のナトリウム塩。

天然の温泉にも「芒硝泉」があるように、芒硝には温浴効果を高める働きがあることから、入浴剤の有効成分として使われる。また、粉末合成洗剤のビルダーや、染色助剤などにも使用される。乾燥硫酸ナトリウムなどと表示される場合もある。

今期、ソーダ灰の本格販売を開始。

ソーダ灰はガラス原料のほか、合成洗剤や入浴剤の原料として使用されており、芒硝での販売ルートを活用する。



ソーダ灰

〔参考〕製品概要 ② 有機化成品

■ シアヌル酸誘導品(塩素化イソシアヌル酸)

各種工業薬剤の原料であるイソシアヌル酸を塩素と反応させて分離、乾燥させたもの。殺菌漂白効果に優れており、主にプールや浄化槽などの殺菌・消毒薬剤として使用されている。主力市場は家庭用プールが普及している北米。

1964年（昭和39年）に当社が独創的な製造技術により国内で初めて量産化に成功し、徳島工場（北島事業所）にて生産を開始した。その生産技術は、1971年（昭和46年）に生産工学上の優れた発明実績に対して与えられる大河内記念技術賞を受賞した。



プール用殺菌・消毒剤
「ネオクロール」

近く国際条約により外洋を航海する船舶へバラスト水処理装置の設置が義務付けられる見込みであり、当社は、JFEエンジニアリング株式会社のバラスト水処理装置「JFEバラストエース®」向けに、塩素系顆粒薬剤「ネオクロール マリーン®」の販売を開始している。

〔参考〕製品概要 ③ ファイン ケミカル

■ プリント配線板向け水溶性防錆剤「タフエース®」

パソコンやスマートフォンなどの電子機器に搭載されるプリント配線板に電子部品をはんだ付けするまでの間、銅回路部分を酸化から守り、良好なはんだ付け性を維持するための表面処理剤。

脱フロン、脱有機溶剤そして無鉛はんだ化への対応などの環境性能をいち早く採り入れ、この分野で世界トップシェア※1の地位にある。

※1 プリント配線板向け水溶性防錆剤において（当社調べ）



プリント配線板向け水溶性防錆剤
「タフエース®」

■ イミダゾール類

イミダゾールとは5員環上の1,3位に窒素原子を含む含窒素芳香複素環式化合物の一つ。化学式 $C_3H_4N_2$

イミダゾール化合物は、エポキシ樹脂の硬化剤、医薬品中間体、ウレタンの硬化触媒、銅の防錆剤、電解質などさまざまな工業分野に広く応用される。

当社は、イミダゾールで培った有機合成技術を強みとして、機能材料分野に進出。半導体等の先端分野において高付加価値材料の開発・拡販を進めている。



エポキシ樹脂硬化剤「キュアゾール®※2」

※2 キュアゾールはイミダゾール類における
当社商標

〔参考〕製品概要 ④ 壁材(JULUX)

■ 壁材

当社の壁材は主に砂、色土、けいそう土などの天然素材を主原料とした塗り壁（左官材料）である。日本の伝統的な壁である聚楽壁は施工する現場ごとに左官職人が材料調合と施工を行っていたが、当社の壁材はあらかじめ造粒・配合された材料に所定量の水を入れて混ぜるだけで均一な品質が保てる。

住宅の内装材は近年、工事が早いビニルクロスなどが主流になっているが、塗り壁は人にやさしく、シックハウス症候群の原因となる物質やニオイを吸着する性能が高いことから、改めて注目されている。

JULUX（ジュラックス）は当社壁材製品の統一ブランドで、業界に広く浸透している。

<内装材>



けいそうジュラックス土壁

<外装材>



弾性パレットクリームHG

<舗装材>



リンクストーンF

〔参考〕製品概要 ⑤ エクステリア

■ エクステリア

エクステリアは一般にインテリア（内装）の対義語として用いられる。居住、生活する建物の外にある構造物全体をさす言葉で、門、車庫（カーポート）、フェンス、塀などが該当する。また、公共の外部空間で使われる資材製品なども含む。

1971年（昭和46年）、当社は伸縮機構で簡単に開閉でき、狭小な宅地事情に応えた「アコーディオン門扉」を考案、車庫前門扉のスタンダードとなった。その後、一般門扉、車庫（カーポート）、フェンス、また、デッキ材やテラスなどに商品ラインナップを強化していった。2012年（平成24年）にはアルミフレームと化粧材を組み合わせたアルミシステム塀「アートウォール®」を業界に先駆けて開発。高い意匠性ととも、特に倒壊など万が一の際の安全性で注目を集めている。

また、機能を重視しつつデザインにも注力しており、1984年（昭和59年）エクステリア業界初の「Gマーク」（現在のグッドデザイン賞）を獲得した。

当社では、一般住宅向けの門扉、カーポート、フェンス等を「住宅エクステリア」、公共施設、マンション等向けの大型門扉、フェンス、通路用シェルター等を「景観エクステリア」と分類している。

<住宅エクステリア>



アコーディオン門扉



車庫（カーポート）



アルミシステム塀
「アートウォール®」

<景観エクステリア>



通路用シェルター

トピックス

■ 「SSS over the 500」終了

3カ年の中期経営計画「SSS over the 500」が2016年3月で終了した。

期間中、中国を始めとする新興国経済の停滞等の事業環境の変化はあったものの、不溶性硫黄等の既存製品が順調に成長し、計数目標として掲げていた売上高500億円を達成した。また、売上高拡大だけでなく、高度な生産技術力や研究開発力を背景に、高い利益水準を継続的に達成するに至っている。

当社では、「SSS」「New SSS」、そして「SSS over the 500」という3つのステップで中期経営計画SSS（Shikoku Survival Strategy）に取り組んできたが、今回の連結売上高500億円達成を以って、SSSで当初掲げた計数目標（売上高500億円、営業利益50億円、ROA5%）の全てを達成した。

■ 「中期経営計画2019」開始

2016年4月より、2019年3月期までの3カ年計画として「中期経営計画2019」を策定し、取り組みを開始した。

「中期経営計画2019」では、最重要視する取り組みとして既存事業周辺分野から将来の売上高、利益に繋がる「新規コア製品」を確立させることを掲げ、今後の持続的成長を目指していく。

お問い合わせ先

四国化成工業株式会社 経営企画室

TEL:0877-21-4119

FAX:0877-22-4119

www.shikoku.co.jp

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報や予測に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり売買の勧誘を目的としたものではありません。当社では投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。